

平成 28 年 12 月 5 日

富良野市議会議長 北 猛 俊 様

経済建設委員長 黒 岩 岳 雄

## 委員会事務調査報告書

平成 28 年第 3 回定例会において、継続調査の許可を得た事件について、下記のとおり結果を報告します。

### 記

1. 調査案件  
調査第 3 号 農業担い手対策の実態について
2. 調査の経過及び結果  
別紙のとおり

## 農業担い手対策の実態について

経済建設委員会より、調査第3号「農業担い手対策の実態について」の調査の経過と結果について報告する。本委員会では、担当部局に資料の提出と説明を求め、農業担い手対策の実態についてこれまでの取り組み経過の説明を受け、農業担い手育成センターや東山地区受け入れ農家の現地調査を行い、さらに都市事例調査により他自治体における先進事例を調査してきたところである。

富良野市の基幹産業である農業は、これまで国内の食料自給率維持に貢献してきており、今後も日本の食糧基地としてその役割が期待されている。そして富良野農業は、優良な農地、農業資源及び担い手を適切に確保しながら、地域特性を踏まえた農業構造を確立し、将来に渡り持続的な発展を図ることが望ましい。また農村地域は、農業者を含めた地域住民の生活の場であり、農業が営まれることによって農畜産物の供給機能のみならず、国土の保全や水源涵養、農地保全による良好な景観の形成等、多岐に渡る機能が求められている。

本市では、現在、平成26年度から第2次富良野市農業及び農村基本計画を策定し、その重点施策として農業担い手対策、農地対策、農村対策を位置付け、富良野農業の維持・発展に取り組んでいるところである。本委員会では、その中でも喫緊の課題とされる農業担い手対策の実態について議論を行ってきた。

富良野市の農家戸数は、平成17年849戸、平成22年713戸、平成27年634戸であり、過去の減少幅と比べここ数年落ち着いてきている。耕作面積は、平成17年9,306.4ha、平成22年9,206.2ha、平成27年9,294.8haと、農家戸数の減少に対し耕作面積はここ10年間ほぼ横ばい状態で維持され、農家1戸あたり平成27年の耕作面積は14.6haとなり、拡大傾向にある。

農業従事者の年齢構成は、富良野市では39歳以下16.5%、65歳以上34.3%。全国平均では、39歳以下6.1%、65歳以上65.1%であり、富良野市の農業従事者の年齢構成は、全国平均よりも若年者の割合が高いと言える。また、富良野市内農家の後継者がいる割合は、富良野地区19%、東部地区34.4%、山部地区21.1%、東山地区25.5%、総体では4戸に1戸の割合で後継者がいる。

本市における平成18年から平成27年までの10年間の就農状況は、新規参入者と農家後継者を合わせて77人となっており、年間7～8人程度の就農実績となっている。農家後継者は、安定して年間5～6人程度が就農しており、近年ではUターンが増えている。第5次富良野市総合計画では5年間で40人、年間8人程度の新規就農者を見込んでいることからほぼ順調に推移してきていると言える。

本市では、担い手育成の活動拠点として平成26年から富良野市農業担い手育成センターを開設し、新たに担当職員を配置して、青年就農給付金など国の担い手育成に関連する補助事業やトレーニング農場、宿泊棟など施設の維持管理に関する業務を行ってきた。また新

規事業として、農家後継や新規参入などの就農促進に必要な経費を市が融資する農業担い手支援資金、就農予定地での実践研修時と就農後に必要なハウス等を準備するための現地実践農場研修準備事業や栽培用ハウス資材等無償貸付事業、緑峰高校農業特別専攻科の学生確保のための学費助成など市単独事業を行うこととしている。

一方、新規就農者の受け入れについては、従来の就農支援会議を母体として平成27年に農業担い手育成協議会を立ち上げ、本年2月には法人格を取得して一般財団法人富良野市農業担い手育成機構へ改組し、受け入れから就農まで一貫した研修体制や農用利用集積円滑化団体として安定した就農地確保を目指す取り組みを行うこととしている。農業担い手育成協議会の立ち上げからこれまでに新規参入3組6名、雇用就農4組29名、体験実習2組3名を受け入れしてきている。

本委員会では、国が青年就農給付金のような全国一律の支援制度を設けたことにより、農業を志す担い手が全国どこにでも就農できる基盤が整備されてきていると認識している。他自治体との差別化を図るためには、富良野の地域性を前面に出した農業担い手対策を検討すべきであり、これまでの委員会の中で議論してきた要点を次の8点にまとめ、更なる担い手の育成・確保を目指した施策の推進を望むものである。

### 1．農家子弟に就農を促す施策について

全国の地方自治体では、農業の担い手を確保するため、東京や大阪などで開催される新・農業人フェアへの出展や農業求人サイトへの広告掲載を行うなど都市部からの担い手の呼び込みに積極的であり、自治体同士が競合している実態がある。一方で、富良野市出身の農家子弟で就農されていない方々が市内外にいることから、その方たちが就職先の一つとして富良野農業を考えてもらえるように働きかけることも重要である。行政が農家子弟の親族と連携しながら、農家後継者として帰郷する動機付けや親族からの働きかけを行うなど、農家子弟に就農を促す施策に取り組むべきである。

### 2．就農時における住居の確保について

新規就農者が農業研修を終えて実際に就農する段階において、就農地の確保とともに大きな課題となっているのが住居の問題である。就農地が決まっても、住居が定まらなければ生活基盤が確立できず、本業である農業に支障をきたすことになる。特に本市で新規就農者へ推奨しているメロンやトマトなどの施設園芸作物の栽培においては、栽培管理上、就農地と住居が近いことが望ましいとされる。行政は、住居について就農者本人の希望を勘案しながら、農地の取得とは別に住居地選定や住宅取得の支援、住居費助成など住居確保に向けた支援を考えていく必要がある。

### 3．就農と定住を一体化した施策について

新規就農者には地域に溶け込んでもらうことが定住につながると考える。研修中から集落行事に参加してもらい、地域の人とのつながりを意図的に結び付けることも必要と考える。営農に関する研修のほか、まちの歴史やまちづくり、集落自治のあり方などの座学を取り入

れることで、就農する集落への関心を高めてもらい、地域の担い手としての育成にもつながる施策を検討されたい。

#### 4．子育て世代の農業従事者の支援について

新規就農者の中には夫婦で就農したり、就農後に結婚して子育てをしながら農業に従事する方も多い。現状、本市の農村地区において子どもを保育所に預ける場合、市立へき地保育所の入所基準は2歳以上であり、子どもが2歳になるまでは市街地の保育所まで送迎しなければならない。そのため、子どもの数が増えたときは送迎等にかかる負担も大きくなることから、地域で子供の面倒を見てもらえる環境づくりなど、営農と育児が両立できるように支援していくことも重要である。

#### 5．優れた経営感覚を持つ農業経営者の育成について

本市の研修では、農作業実習による栽培管理作業の習得や指導農家の下で栽培・経営技術を習得後、模擬経営としてトレーニング農場での実践研修が行われている。農業情勢の変動に対応できる優れた経営感覚を身につけるためには、生産のみならず、加工・流通・販売まで含めた総合的な研修が必要であると考え。特に生産者が持っている農産物への高い意識を消費者に直接伝えることも大切であり、消費者の反応や要望を受け止める関係が築ければ、今後の生産意欲の向上につながると思われる。

#### 6．企業参入による将来的な富良野農業の担い手について

本委員会の議論では、今後、本市の現在の耕作面積を維持するためには、各種企業に農業法人としての参入を促し、富良野農業の持続的な発展を図っていくことも必要であると意見が出されたところである。農業参入の受け入れを法人と個人で区分し、法人企業の農業参入のほか、個人が一般企業に就職するのと同様に、市内へ進出した農企業へ企業就農できるような受け皿も必要ではないかと考える。農業への企業参入によって新たな雇用が生まれ、農業労働力が確保され、契約栽培の展開などにより耕作放棄地の発生を抑えることができるという見方もあり、富良野農業の将来を見据えた担い手として企業参入の受け入れを検討されたい。

#### 7．第三者継承の支援について

新規就農する際には、農地、住居、農機具等の購入に要する資金面や栽培技術、就農後の販路など多くの課題を抱えるが、後継者のいない農家の経営資産をそのまま引き継ぐことができる第三者継承は、これらの課題解決に非常に有効である。行政が各地域の農家個々の情報等を把握し、第三者継承の意思がある農家と新規就農者を結び付ける支援を積極的に取り組まれない。

#### 8．地域育成部会の組織構成について

一般財団法人農業担い手育成機構の組織機構において、農家研修への受け入れを検討する

組織が地域育成部会であり、現在、東山地区において組織化されている。地域育成部会では研修地、指導者の確保、研修計画など具体的な研修内容について協議されているが、農家研修の実態からは、受入農家側が事前に研修生や研修内容について十分理解されないまま受け入れしている事例もみられる。そのため、地域育成部会が研修生受け入れに関する話し合いを行う際には、実際に地域で受け入れる農家を含めた生産者グループも含めるよう組織化を図るべきである。